

平成27年度 高津区地域課題対応事業 評価書

1 基本情報

予算中事業コード	20	予算小事業コード	05	事業名	花と緑のたかつ推進事業		
事業所管課	道路公園センター 整備課			担当者	菱山	連絡先	044-833-1221

2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	都市化によりまちの緑が減少している中、緑地や水辺の整備、花と緑のまちづくりの推進により潤いのある空間を創出する必要がある。
事業概要	区内に潤いのある空間を創出するため、市民主体による花と緑のまちづくりの推進を図ることを目的とし、次の内容を実施する。 (1)区内各所に設置したコンテナ・花壇の維持管理 (2)武蔵溝ノ口駅北口キラリデッキ円筒広場ガーデン花苗植栽管理 (3)水仙（区の花）球根の配布

3 予算・事業目標・取組の成果

当初予算額	1,481,000	予算額（調整後）	1,481,000	決算額	1,363,888	不用額	117,112
不用の理由	水仙の球根を購入する予定だったが、別の財源での購入に目途がたつたため予算を執行する必要がなくなった。						
事業目標	事業に対する認知度の向上を図り、新たな区民の参加を促すことで、花壇など植栽の整備を推進する。						
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	(1)区内各所に設置したコンテナ・花壇の維持管理 協力団体（「区民ミニ・ガーデン」連絡会）が適正に運営できる環境を整える。 (2)委託による武蔵溝ノ口駅北口キラリデッキ円筒広場ガーデン花苗植栽管理 (3)「エコシティたかつ」推進方針、溝ノ口駅周辺地区緑化推進重点地区計画との調整・連携をさらに強化する。 (4)水仙（区の花）の球根の配布を行う。						
事業目標を達成する上での課題等	コンテナや花壇の維持・管理、全体会など、現状の組織レベルにおける活動内容について行政と団体で調整を図る余地がある。また、既存のコンテナや花壇は区内公共施設や行政管理の場所のみとなっているため、それ以外の場所で個別に活動している団体への支援が課題となる。						
実績	(1)委託先：区民ミニ・ガーデン連絡会 花街道等のコンテナや花壇について、季節ごとの植栽を実施し、維持・管理した。11月には、キラリデッキ親子植栽体験を実施し、区内小学生に植栽の機会を提供した。（コンテナ：17基、花壇：11箇所） (2)委託先：（株）みつや園 武蔵溝ノ口駅北口キラリデッキ円筒広場ガーデンの年間維持管理を行った。 (3)溝ノ口駅周辺地区緑化推進重点地区計画に基づき、久本3丁目（高津4号線）に地域の団体と連携しながら花壇の設置を行い、緑化の推進ができた。						
協働の視点	年間計画、個別取組の企画運営等、全般にわたって区民が主体的に関わり、行政は広報・連絡調整の一部を担うなど、適正な役割分担のもとに実施した。						
環境配慮への視点	各種取組で使用する物品については、リユース品、再生品を使用するように配慮した。						
取組の成果	コンテナや花壇については、苗の選択から連絡会各担当班で行い、区民主体で季節に応じた植栽、維持・管理をすることが出来た。キラリデッキ植栽体験の実施を通じて、多くの区民に花や緑の楽しみを知ってもらう機会を設け、緑化の普及啓発を行った。						達成度
							3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	今後、活動を持続していくために、連絡会メンバー数について公募による補充を継続する必要がある。また、区民ミニ・ガーデン以外の場所で個別に活動している団体に対する支援等、広く区民参加による花壇の管理が出来る仕組みを検討していく必要がある。

平成27年度 高津区地域課題対応事業 評価書

1 基本情報

予算中事業コード	20	予算小事業コード	10	事業名	高津区環境まちづくり普及啓発事業		
事業所管課	地域振興課		担当者	辻永	連絡先	044-861-3145	

2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	エコシティたかつの推進を図るため、区民の環境に関する意識を向上させ積極的な環境への取り組みを促す必要がある。
事業概要	エコシティたかつ推進方針に基づき、環境に関する区民意識の醸成及び行動を推進する取り組みを行う。

3 予算・事業目標・取組の成果

当初予算額	2,905,000	予算額（調整後）	2,468,000	決算額	2,078,649	不用額	389,351
不用の理由	配当留保（44,000円）。また、調整後の予算内で優先順位をつけ執行した結果、環境まちづくり普及啓発事業業務委託につき未執行としたため。						
事業目標	(1) 電気、水道、都市ガス使用量の削減。 (2) 省エネルギー対策、及び区民の環境意識に関する普及啓発。 (3) 区役所庁舎のエコシティホール化の推進						
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	(1) 省エネルギー対策を推進するため、市民館において、遮光断熱フィルムの設置、LED電球への置き換えのほか、電球の間引きや時間帯ごとの節電運用のための点灯パターンを定めこまめな節電を実践する。また、冷房や暖房については外気温や湿度を考慮し、効率的な運転に努める。また、体育室に節水型シャワーヘッドを取り付け、水道使用量を削減する。 (2) たかつエコシティツアーマップを作成する。 (3) エコシティホールツアーパンフレットを更新するとともに、区役所庁舎等において、ゴーヤーによる緑のカーテンを実施するなど、区役所庁舎のエコシティホール化を進め、エコシティホールツアーを実施する。						
事業目標を達成する上での課題等	(1) たかつエコシティツアーマップの作成：掲載する施設等の選定と見学のための調整						
実績	(1) 料理室、実習室等において遮光断熱フィルムの設置が完了した。また、印刷室、大会議室控室等において蛍光灯をLED蛍光灯へ置き換えた。また、電球の間引きや時間帯ごとの節電運用のための点灯パターンを定めこまめな節電を実践した。また、冷房や暖房については外気温や湿度を考慮し、効率的な運転に努めた。また、体育室のシャワーすべてに節水型シャワーヘッドを取り付け、水道使用量の削減も実施した。 (2) たかつエコシティツアーマップを作成した。（委託先：CCたかつ） (3) エコシティホールツアーパンフレットを更新するとともに、区役所庁舎等において、ゴーヤーによる緑のカーテンを実施するなど、区役所庁舎のエコシティホール化を進めた。（パンフレット作成業務委託先：tt-unit）また、川崎市地球温暖化防止活動推進センターと連携し、区役所エコシティホールツアー&自然エネルギー体験工作教室を開催した。（①日時：平成27年8月18日、②場所：高津区役所、③天気：晴れ、④参加人数：小学生20名及びその保護者）						
協働の視点	川崎市地球温暖化防止活動推進センターと連携し、区役所エコシティホールツアー&自然エネルギー体験工作教室を開催した。						
環境配慮への視点	(1) 既存器具を利用して電球をLEDに置き換えることによって、大量の照明器具を廃棄することなく節電が推進できた。 (2) 当事業の実施を通じて、区民の環境意識を醸成した。						
取組の成果	(1) 電気、水道においては前年度比10%以上の使用量の減を達成できた。一方、夏場の熱中症防止対策のため、館内共用部の温度設定を一定期間低めに設定したことが影響したのか、都市ガス使用量は増加した。 (2) たかつエコシティツアーマップを作成・配布したことにより、地球温暖化適応策の必要性を視覚的に確認してもらうことができた。						達成度
							3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	省エネ対策推進の観点から、引き続き市民館内の照明器具について、LED照明への置き換えを推進する。また、各種イベントやエコシティホール化の推進を通じて、更なる区民の環境意識の醸成を図る。

平成27年度 高津区地域課題対応事業 評価書

1 基本情報

予算中事業コード	20	予算小事業コード	15	事業名	高津区民祭周辺環境対策事業		
事業所管課	地域振興課			担当者	辻永	連絡先	044-861-3145

2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	<p>事業によって以下の課題を解決する必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●改訂された「川崎市一般廃棄物処理基本計画の行動計画」、及び「プラスチック製容器包装の分別収集拡大」についての周知拡大。 ●区民祭において設置する「ごみステーション」周辺を中心として、高津区民祭のメインイベント「パレード」にともなう交通環境の整備や、緊急車両通行道路でもある大山街道の機能確保、沿道警備等従事者の作業環境の安全確保 ●関係者、参観人に対する熱中症対策。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ●高津区民祭が20万人を動員する大規模イベントであることに着目し、単に廃棄物処理の視点にとどまらず、地球環境問題を視野に入れた取組として、地域住民と連携した環境対策の機会とする。 ●「ごみステーション」周辺を中心に交通整理員を配置、「パレード」等の進行と連携しながら安全確保を行う。 ●区民祭主催者と連携して休憩所を確保し、従事者、及び非常時には参観人に対しても水分補給等熱中症対応の場とする。

3 予算・事業目標・取組の成果

当初予算額	1,920,000	予算額(調整後)	1,920,000	決算額	1,920,000	不用額	0
不用の理由							
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ●ごみを「廃棄するもの」から、「資源になりうるもの」としての意識啓発 ●大量動員イベントでの取組により、小規模循環型処理システムを実現する ●ボランティアの参加による地域・区民の意識高揚により「エコシティたかつ」の理念を具現化する ●区民祭主催者と連携し、イベント全体の進行に配慮した安全管理を一体として実施する 						
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ●H25年に改訂された市の行動計画の啓発・広報・周知 ●排出物の再利用可能な技術を持つ回収業者の選定 ●地域住民や学生によるごみ処理、啓発活動 ●熱中症対策用クールミストの拠点への配備 ●参加者の安全確保のための沿道警備、交通整理 						
事業目標を達成する上での課題等	<ul style="list-style-type: none"> ●20万人以上の集客・動員となる市内最大級のイベントにおいて、展開する場所の選定が、広報や周知の効果に大きく影響すると見込まれる ●沿道警備、交通整理の要員の安全確保 ●予算内での執行のための関係業者選定 						
実績	<p>高津区民祭実行委員会を委託先とし、大山街道を会場とする区民祭のほぼ中央に民間駐車場を借り上げてメイン拠点を設置。展示等による啓発を行うとともに、スタッフ・参加者の水分補給所として提供した。また、ごみステーション(7箇所)を設置し、その周辺を中心として沿道警備や交通整理を行った。</p>						
協働の視点	<p>地域住民の代表である区民祭実行委員会を委託先とし、対等な関係において具体的な取組内容に関する意見交換を行い実施した。</p>						
環境配慮への視点	<p>事業そのものが環境に資するものである。</p>						
取組の成果	<p>実行委員会を構成する区内各種団体構成員や、区内外からの多数の参加者に対し、急病人の発生や大きなイベント進行の遅れなく、ごみの分別をはじめとした環境行動の普及啓発を行うことができた。</p>						達成度
							3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	<p>平成28年度も高津区民祭の開催準備が進められており、市民の環境意識の向上にあわせて啓発内容の検討を行い、事業継続する。</p>

平成27年度 高津区地域課題対応事業 評価書

1 基本情報

予算中事業コード	20	予算小事業コード	20	事業名	「エコシティたかつ」推進事業		
事業所管課	企画課			担当者	熊島・戸田	連絡先	044-861-3132

2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	高津区でも顕在化しつつある自然環境、社会環境、生活環境に関する諸課題に対して、地域の多様な主体が協力して、総合的かつ多面的に取り組む必要がある。 特に、世界的な気候変動（地球温暖化）が進行し、異常気象や局地的豪雨などが区内でも発生し始めており、従来の地球温暖化緩和策に加えて、流域思考に基づく地球温暖化適応策と生物多様性保全の視点から取組を進める必要がある。
事業概要	「エコシティたかつ」推進方針に基づき、各プロジェクトについて、関係局や関係団体と連携して取組を推進し、区民の環境意識の醸成を図りつつ、持続可能な循環型都市「エコシティたかつ」の実現を目指す。 《各プロジェクト》 (1)「エコシティたかつ」推進会議及び「エコシティたかつ」推進フォーラム (2)たかつの自然の賑わいづくり事業 (3)学校流域プロジェクト (4)推進会議メンバーによる適応策等に関する施設等見学会

3 予算・事業目標・取組の成果

当初予算額	5,000,000	予算額（調整後）	5,000,000	決算額	4,980,082	不用額	19,918
不用の理由	委員謝礼、契約差金						
事業目標	(1)環境を大切にすることを育み、生活様式の変革を促すことで、「生活の質」を向上させ、豊かな市民生活の実現、新たな文化・価値創造をめざす。 (2)水系や流域、丘陵、崖線、谷戸などのランドスケープを重視し、生命の賑わい豊かな自然共生型の都市再生を、地域から推進する。 (3)局地的豪雨や台風の巨大化等による洪水など、気候変動によって増大すると予想される災害に適応するため、流域思考に基づき地形や水循環の特性に即した「水災害適応型都市」づくりを推進する。						
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	(1)「エコシティたかつ」推進会議を年3回、「エコシティたかつ」推進フォーラムを年1回、開催するとともに、会議・フォーラムを通じて、次年度以降の取組の方向性について検討・策定する。 (2)たかつの自然の賑わいづくり事業は、昨年度に引き続き緑ヶ丘霊園内のモデル地区において実践的な取組を展開するとともに、児童向けのイベントを実施する。 (3)学校流域プロジェクトは、ピオトープ整備校（区内小学校14校及び中央支援学校）に対して環境学習支援を継続実施するとともに、建替中であった子母口小学校にピオトープを整備し、ピオトープ開きを実施する。また、教職員向けの研修会を実施する。雨水活用を図るため区内小学校1校に対して雨水貯留タンクを設置する。 (4)高津区の地形を視覚的に把握する3Dマップを作成する。						
事業目標を達成する上での課題等	(1)学校流域プロジェクト：学校との連絡調整 (2)たかつの自然の賑わい作り事業：実践的な取組に向けた事業調整						
実績	(1)「エコシティたかつ」推進会議を3回を実施し、平成28年度の取組の方向性について検討・策定した。また、「エコシティたかつ」推進フォーラムを開催した。（委託先：株式会社カイト） ①日時：平成27年12月6日、②会場：高津市民館大会議室、③天気：晴れ、④参加人数：約150名。 (2)たかつの自然の賑わいづくり事業は、市立緑ヶ丘霊園において、適応策・生物多様性保全のための実践的な取組を2つ実施した。（委託先：NPO法人鶴見川流域ネットワーク） ①日時：平成27年10月4日（児童向けイベント「たかつ生きもの探検隊」）、②場所：市立緑ヶ丘霊園、③天気：晴れ、④イベント参加人数：49名 ①日時：平成28年2月6日（市民向けイベント「たかつ水と緑の探検隊」）、②場所：市立緑ヶ丘霊園、③天気：晴れ、④イベント参加人数：22名 (3)学校流域プロジェクトは、区内のピオトープ整備校（坂戸小学校を除く13校と中央支援学校）に学習支援を実施するとともに、子母口小学校においてピオトープ開きを実施した。また、雨水貯留タンクの設置（東高津小学校）と教職員向け研修会を実施した。 (4)高津流域地形地図（たかつ凸凹マップ）を作成した。						
協働の視点	学校との協働については、授業実施前に打合せを重ねて実施した。たかつの自然の賑わいづくり事業では、市民の参加を呼びかけて、市民との協働で実施した。						
環境配慮への視点	当事業の実施を通じて、区民の環境意識の醸成や、地球温暖化適応策・生物多様性の向上に向けた取組を推進することができた。						
取組の成果	(1)「エコシティたかつ」推進会議と「エコシティたかつ」推進フォーラムにより、各プロジェクトの推進状況の確認や推進方法について検討し、次年度以降の取組の方向性について策定するとともに、区民の環境意識の醸成を図ることができた。 (2)たかつの自然の賑わいづくり事業により、緑ヶ丘霊園内の保水力向上・生物多様性保全を進めることができた。 (3)学校流域プロジェクトにより、児童・教員に対して生物多様性や流域思考について伝えることができた。また、雨水タンクの設置により、更なる雨水活用を図ることができた。 (4)高津流域地形地図（たかつ凸凹マップ）により、局地的豪雨や台風の巨大化等による洪水など、気候変動によって増大すると予想される災害に適応するため、流域思考に基づき地形や水循環の特性を視覚的に捉えられるようになった。						達成度
							3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	「エコシティたかつ」推進会議や各種イベントを通じて、更なる区民の環境意識の醸成を図る。また、市民向けに「たかつエコシティツアー」を実施する。

平成27年度 高津区地域課題対応事業 評価書

1 基本情報

予算中事業コード	20	予算小事業コード	25	事業名	水と緑のネットワークづくり推進事業		
事業所管課	企画課			担当者	高橋	連絡先	044-861-3135

2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	溝口駅周辺地区は多摩川崖線軸から多摩川にかけて久地緑地を中心に豊かな緑が広がり、かすみ堤、歴史的資源である久地円筒分水から二ヶ領用水、多摩川にそそぐ平瀬川支流など豊かな水と緑が残る地域である。 これらのネットワークを構築することによる、生態系（生体）ネットワークの形成、観光ルートの形成、多摩川河川敷広域広場に至る避難経路としての活用等に配慮した、地域の魅力向上（自然共生型都市再生）に向けた取り組みの検討を行うこと。
事業概要	関係部局と調整を図りながら、かすみ堤の国からの無償借地に向けた協議を進めた上で、二ヶ領用水久地円筒分水から多摩川へとつながる「水と緑のネットワーク」の整備や、多摩川河川敷広域避難所へのルートの確保等について調整を行う。

3 予算・事業目標・取組の成果

当初予算額	500,000	予算額（調整後）	45,000	決算額	0	不用額	45,000
不用の理由	かすみ堤の国からの無償借地に向けた協議中であり、現状では調査委託を実施する段階までには至らなかったため。						
事業目標	国からの無償借地の協議を進めてかすみ堤を保全した上で、当該エリアにおける現状の緑地保存状況、施設の配置状況、空地並びに関連施策及び事業等を把握して、対象地域の条件分析等を行う。						
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	国からの無償借地に向けて、国土交通省京浜河川事務所との調整を実施し、かすみ堤を保全した上で、当該エリアにおける現状の緑地保存状況、施設の配置状況、空地並びに関連施策及び事業等を把握して、対象地域の条件分析等を行う。						
事業目標を達成する上での課題等	事業実施にあたっては、川崎市所有地以外が多くを占めることから、無償借地に向けた土地所有者（国）の合意が必要不可欠である。						
実績	庁内関係部局と連携して国（京浜河川事務所）と小まめに協議を実施するとともに、地元保存会とも定期的に意見交換等を行った。 当初予定していた委託事業については、土地所有者である国との無償借地に向けた協議の現状では発注する段階までには至らなかった。						
協働の視点	かすみ堤の保全後における草刈等の日常の維持管理については、地域住民等のボランティアを中心とした自主的な管理を行うことを検討する。						
環境配慮への視点	「エコシティかつ」推進事業における「緑の回廊」づくりの推進と連携しながら実施する。						
取組の成果	かすみ堤の保全に向けた国との前向きな協議を進めることができ、次年度に向けた足がかりをつくることできた。						達成度
							4

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	引き続きかすみ堤の保全に向けた国との協議を進めるとともに、国の方向性に応じた適切な対応ができるよう、地元保存会及び庁内関係部局との調整をこれまで以上に行いながら、柔軟な検討を行う。